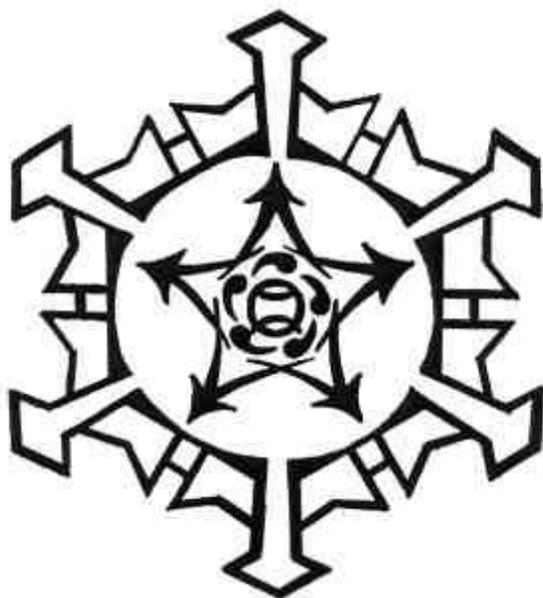


令和6年版

# 消防年報



貝塚市消防本部

## まえがき

この年報は、貝塚市の消防現況及び令和6年中を主とした消防業務に関する諸般の状況を収録し、今後の消防行政の参考に資するとともに、消防事情を紹介するために編集したものです。

尚、この資料は、令和6年12月末日をもって作成し、統計は暦年（1月1日から12月31日）で表し、予算については会計年度（4月1日から翌年3月31日）により作成したものです。

貝塚市消防本部

# 目 次

貝塚市の位置・面積	1
消防機関の配置図	2
消防本部の沿革	3・4・5
消防相互応援協定等締結状況	6

## 総 務 課

1 消防機構	7
2 過去10年の人口及び世帯数	8
3 消防予算一般会計と消防費	8
4 消防費の内訳	8
5 消防費の財源内訳	8
6 職員の階級別配置	8
7 職員の年齢状況	8
8 職員の勤続年数	8
9 消防庁舎の現況	9
10 職員の教養関係	9
11 職員の研修	10
12 表彰	10
13 主要行事	10

## 予 防 課

1 主な予防課年間行事	11
2 立入検査・調査関係	11
3 防火対象物の現況	12
4 用途別中高層建築物（4階以上）の現況	12
5 火災予防条例の対象となる施設	13
6 圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱施設	13
7 月別建築同意事務処理状況	13
8 消防用設備関係文書処理数	14
9 消防用設備等の設置に伴う届	14
10 消防用設備等の設置状況	15
11 危険物施設等の推移	15
12 証書等の発行件数	16
13 危険物関係文書処理数	16
14 火薬類取締法関係文書処理数	17
15 液化石油ガス法関係文書処理数	17
16 高圧ガス保安法関係文書処理数	17
17 月別の危険物等手数料状況	18
18 月別の高圧ガス等手数料状況	18
19 民間防火組織及び自主防火組織の現状	19
20 民間防火組織及び自主防火組織の育成指導	19

## 火災概況

1	月別火災概況	20
2	火災の覚知状況	21
3	曜日別火災発生状況	21
4	用途別出火原因状況	21
5	月別出火原因状況	22
6	令和5年・令和6年出火原因別比較表	22
7	時間別火災発生状況	23
8	年次別火災概況	23

## 警備課

1	警備活動状況	24
2	火災・救急等の覚知別状況	25
3	消防水利状況	25
4	口径別公設消火栓設置状況	25
5	主力機械の配置状況	25
6	消防機械出動状況	26
7	通信系統図	27
8	無線電話配置状況	28
9	有線電話架設状況	29
10	無線電話設置状況	29
11	防災無線設置状況	29

## 救急・救助

1	令和5年・令和6年救急出場件数、救急搬送人員比較表	30
2	過去10年の救急出場件数の推移	30
3	事故種別救急出場状況	30
4	事故種別救急出場構成比	30
5	事故種別救急搬送人員状況	31
6	事故種別救急搬送人員構成比	31
7	月別救急搬送人員状況	31
8	曜日別救急搬送人員状況	31
9	時間別救急出場件数状況	32
10	事故種別及び年齢別救急搬送人員状況	32
11	事故種別傷病程度別救急搬送人員状況	33
12	科目別救急搬送人員構成比	33
13	救急搬送地域別状況	33
14	医療機関紹介件数	33
15	高速自動車道における救急出場件数	33
16	救助出動状況	34
17	年次別救助出動状況	34

# 消 防 団

消防団の沿革	35・36
1 消防団主要行事	37
2 消防団員階級別定員と実員配置	37
3 消防団員の勤続年数	38
4 消防団員の年齢状況	38
5 消防団機械器具配置状況	39
6 消防団員報酬	39
7 消防団員出動状況	40
8 表彰	40

# 貝塚市の位置・面積



## 地理的位置

市域面積：43.93 km<sup>2</sup>

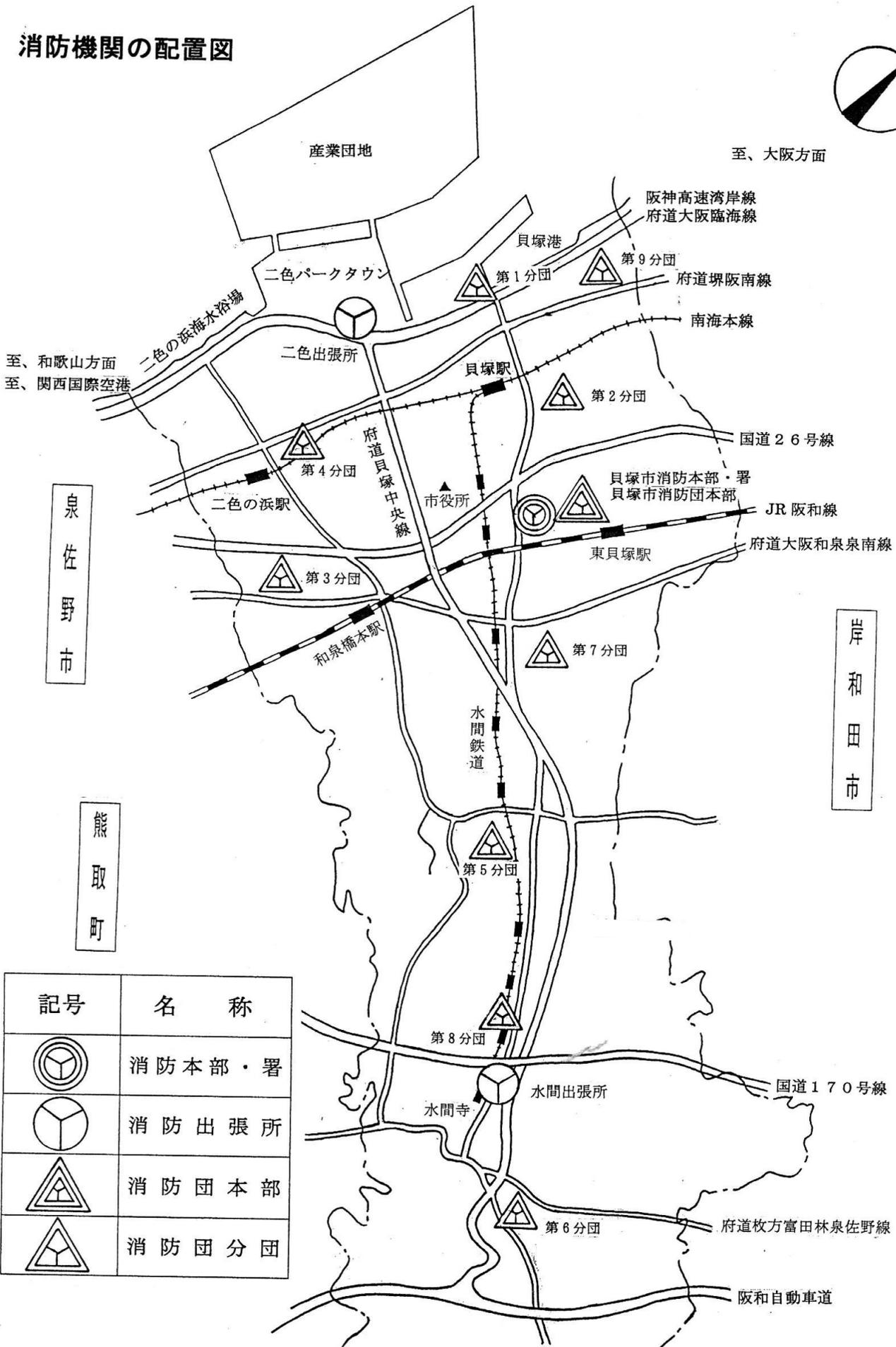
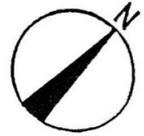
### 位置

東経：135度19分～26分

北緯：34度20分～27分



# 消防機関の配置図



記号	名称
	消防本部・署
	消防出張所
	消防団本部
	消防団分団

## 消防本部の沿革

年	月	概 要
昭和20年	6月	特別消防署規程により官設貝塚出張所開設（貝塚市海塚323）
昭和21年	9月	官設三ツ松出張所開設（木島小学校隣接）
昭和23年	2月	貝塚市消防署開設（貝塚市海塚323）
昭和23年	3月	消防組織法(昭和22年法律第226号)の施行により、貝塚市消防本部、消防署（定数40人）発足、（1本部1署1出張所実数24人、本部（署）貝塚市海塚324、三ツ松出張所 木島小学校隣接）
昭和23年	9月	貝塚市危険物品保安協会創立
昭和24年	1月	消防出初式を籠池（脇浜）にて開始
昭和24年	3月	三ツ松出張所廃止、水間出張所開設（水間寺前）
昭和25年	12月	大阪府知事より感謝状を受章（ジェーン台風襲来時の活動功績）
昭和26年	4月	消防本部（署）庁舎竣工、（貝塚市海塚328）
昭和28年	11月	大阪府知事より表彰状を受章（台風13号襲来時の活動功績）
昭和29年	4月	消防職員定数42人に条例改正
昭和33年	3月	国家消防本部長より消防本部、消防団に竿頭綬を受章
昭和35年	1月	消防職員定数41人に条例改正
昭和38年	10月	救急業務を開始（本署配置）
昭和39年	3月	消防庁長官より消防本部（署）に表彰旗を受章
昭和39年	4月	消防職員定数43人に条例改正
昭和39年	8月	水間出張所庁舎竣工（貝塚市三ツ松750-8）
昭和41年	1月	消防出初式を現市役所前に移行し実施
昭和41年	7月	消防職員定数45人に条例改正
昭和42年	6月	消防庁長官より表彰状を受章（南海電鉄車両転覆事故時の活動功績）
昭和44年	10月	消防職員定数44人に条例改正
昭和45年	4月	消防職員定数45人に条例改正
昭和48年	4月	消防職員定数48人に条例改正
昭和49年	5月	消防本部に課制実施、2課（総務課、警防課）
昭和50年	3月	消防本部（署）庁舎竣工、（貝塚市鳥羽122-1）
昭和51年	3月	大阪府知事より貝塚市危険物品保安協会に褒章を受章
昭和51年	10月	内閣総理大臣より貝塚市危険物品保安協会に紺綬褒状を受章
昭和52年	4月	消防職員定数50名に条例改正
昭和52年	5月	貝塚市危険物品保安協会を貝塚市火災予防協会に改称
昭和52年	7月	消防庁長官より貝塚市火災予防協会が国民の安全の日にあたり表彰状を受章
昭和53年	4月	本部機構を改革、予防課を新設3課制（総務課、警備課、予防課）
昭和54年	4月	消防職員定数52名に条例改正
昭和54年	9月	内閣総理大臣より貝塚市火災予防協会に紺綬褒状を受章
昭和55年	12月	貝塚市少年婦人防火委員会、貝塚市少年消防クラブ、貝塚女性防火クラブ、貝塚婦人消防隊発足

昭和57年10月	消防職員定数54名に条例改正
昭和59年9月	貝塚市幼年消防クラブ発足
昭和61年3月	消防庁長官より貝塚市少年消防クラブに表彰状を受章
平成元年4月	消防職員定数59名に条例改正
平成2年3月	近畿自動車道岸和田以南の供用開始により水間出張所に救急隊を新設
平成2年4月	消防職員定数68名に条例改正
平成2年8月	二色出張所庁舎竣工（貝塚市二色2-2-1）
平成3年4月	消防職員定数74名に条例改正
平成5年4月	消防職員定数81名に条例改正
平成5年9月	貝塚市自治体消防発足45周年記念式典並びに消防フェアを開催
平成6年5月	貝塚市少年婦人防火委員会を貝塚市幼少年婦人防火委員会に改称
平成6年9月	水槽付消防ポンプ自動車（水1-A型）日本損害保険協会より寄贈される (本署に同年10月配置)
平成7年1月	兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）に応援出動
平成7年5月	消防庁長官より阪神・淡路大震災における消防応援活動の功勞により感謝状を受章
平成8年1月	高規格救急車運用開始（本署配置）
平成8年10月	消防職員委員会設置
平成10年10月	貝塚市自治体消防発足50周年記念式典並びに消防フェアを開催
平成11年10月	貝塚市自治体消防発足50周年記念事業の一環として、職員の手作りによる ミニ消防自動車及び火災・救急件数等掲示板を製作・完成
平成12年3月	高規格救急自動車、大阪府モーターボート競走会より寄贈される (二色出張所に同年4月配置)
平成13年3月	救急自動車（2B型）全国共済農業協同組合連合会大阪府本部より寄贈される (水間出張所に同年4月配置)
平成14年4月	水難救助隊発足
平成15年10月	水間出張所に高規格救急自動車を導入（緊急消防援助隊登録） (水間出張所に同年10月配置)
平成18年3月	高機能消防指令センターを導入
平成18年3月	消防本部庁舎耐震補強工事完了
平成18年4月	消防職員定数83名に条例改正
平成18年9月	消防ポンプ自動車（CD-I型）（二色出張所に同年9月配置）
平成19年9月	消防ポンプ自動車（CD-I型）（水間出張所に同年9月配置）
平成20年11月	高規格救急自動車を更新（本署配置）
平成21年2月	水間出張所庁舎竣工（貝塚市三ツ松750-8）
平成21年10月	二色出張所高規格救急自動車を更新（緊急消防援助隊登録） (二色出張所に同年11月配置)
平成21年10月	25m屈折梯子付消防自動車を導入（本署に同年10月配置）
平成22年9月	水槽付消防ポンプ自動車を導入（水1-A型）（本署に同年10月配置）
平成23年3月	東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）に緊急消防援助隊出動

平成23年10月	全国消防長会会長より東日本大震災における消防応援活動の功績により表彰状を受賞
平成23年11月	総務大臣より東日本大震災における消防応援活動の功績により表彰状を受賞
平成24年1月	水間出張所高規格救急自動車を更新（水間出張所に同年1月配置）
平成24年3月	大阪府知事より東日本大震災における消防応援活動の功績により表彰状を受賞
平成24年3月	消防職員定数86名に条例改正
平成24年7月	東日本大震災における消防応援活動の功績により大阪の消防大賞特別賞を受賞
平成26年7月	消防救急デジタル無線を導入
平成27年1月	本署高規格救急自動車を更新（本署に同年1月配置）
平成28年3月	消防庁長官より消防本部・消防団が竿頭綬を受章
平成28年4月	係制を廃止し、担当制を導入
平成28年4月	平成28年熊本地震に緊急消防援助隊出動
平成29年1月	二色出張所高規格救急自動車を更新（緊急消防援助隊登録） (二色出張所に同年1月配置)
平成29年2月	消防庁長官より熊本地震における緊急消防援助隊出動の功績により表彰状を受賞
平成29年4月	消防職員定数90名に条例改正
平成30年7月	平成30年7月豪雨に緊急消防援助隊出動
平成31年2月	消防庁長官より7月豪雨における緊急消防援助隊出動の功績により表彰状を受賞
令和2年10月	高機能消防指令センターを更新
令和3年3月	水間出張所高規格救急自動車を更新（水間出張所に同年3月配置）
令和3年7月	「大阪の消防大賞」を受賞
令和5年3月	消防ポンプ自動車（CD-I型）を更新（緊急消防援助隊登録） (本署に同年3月配置)
令和5年4月	消防職員定数100名に条例改正
令和5年12月	本署高規格救急自動車を更新（本署に同年12月配置）
令和6年1月	令和6年能登半島地震に緊急消防援助隊出動
令和6年4月	貝塚市幼少年婦人防火委員会、貝塚婦人防火クラブ、貝塚婦人消防隊を貝塚市幼年・少年・女性等防火委員会、貝塚女性防火クラブ、貝塚女性消防隊に改称
令和6年5月	消防庁長官より令和6年能登半島地震における緊急消防援助隊出動の功績により表彰状を受賞
令和6年9月	令和6年9月奥能登豪雨に緊急消防援助隊出動

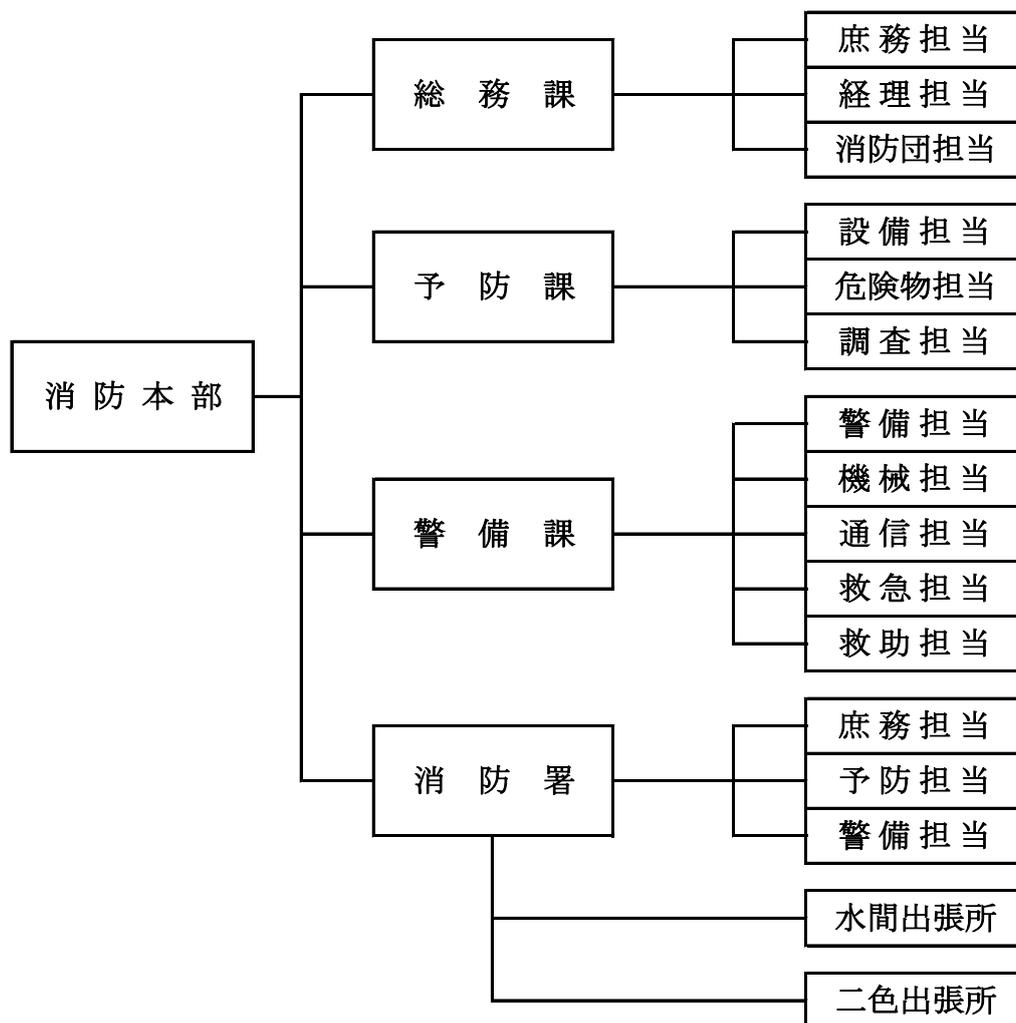
## 消防相互応援協定等締結状況

協定名	締結日	締結機関
船舶火災の消火に関する業務協定	昭和44年 9月 5日 (平成25年 4月 1日再締結)	大阪海上保安監部、岸和田市、貝塚市、忠岡町、泉州南消防組合
大阪市・貝塚市航空消防応援協定	昭和45年10月 1日 (平成22年 4月 1日再締結)	大阪市、貝塚市
阪和林野火災消防相互応援協定	昭和47年 4月 1日 (令和6年 4月 1日再締結)	大阪南消防組合、和泉市、岸和田市、貝塚市、泉佐野市、泉南市、阪南市、岬町、泉州南消防組合、和歌山市、橋本市、岩出市、紀の川市、かつらぎ町、那賀消防組合、伊都消防組合
大阪府南ブロック消防相互応援協定	昭和53年 6月20日 (令和3年 3月23日再締結)	堺市、岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉州南消防組合、和泉市、高石市、大阪狭山市、忠岡町
大阪府下広域消防相互応援協定	昭和63年 9月 1日 (令和6年 7月 16日再締結)	大阪府下各市町村
阪和自動車道、湯浅御坊道路、関西空港自動車道及び京奈和自動車道消防相互応援協定	平成2年3月29日 (平成29年 3月18日再締結)	堺市、和泉市、岸和田市、貝塚市、泉州南消防組合、那賀消防組合、和歌山市、海南市、有田川町、湯浅広川消防組合、日高広域消防事務組合、御坊市、田辺市
阪神高速道路における消防及び救急等の業務に関する申合せ	平成 6年 4月 2日 (平成17年10月 1日再締結)	阪神高速道路株式会社、貝塚市消防本部
関西国際空港消防相互応援協定	平成 6年 6月21日 (令和3年 3月29日再締結)	大阪市、堺市、岸和田市、泉大津市、貝塚市、和泉市、高石市、大阪狭山市、忠岡町、泉州南消防組合、関西エアポート株式会社
救急医療相談業務に係る応援協定	平成22年12月 1日	大阪市、貝塚市
保安3法事務連携機構おおさかの設立に関する協定書	平成24年 3月22日 (令和6年 6月13日再締結)	大阪府下消防(局)本部

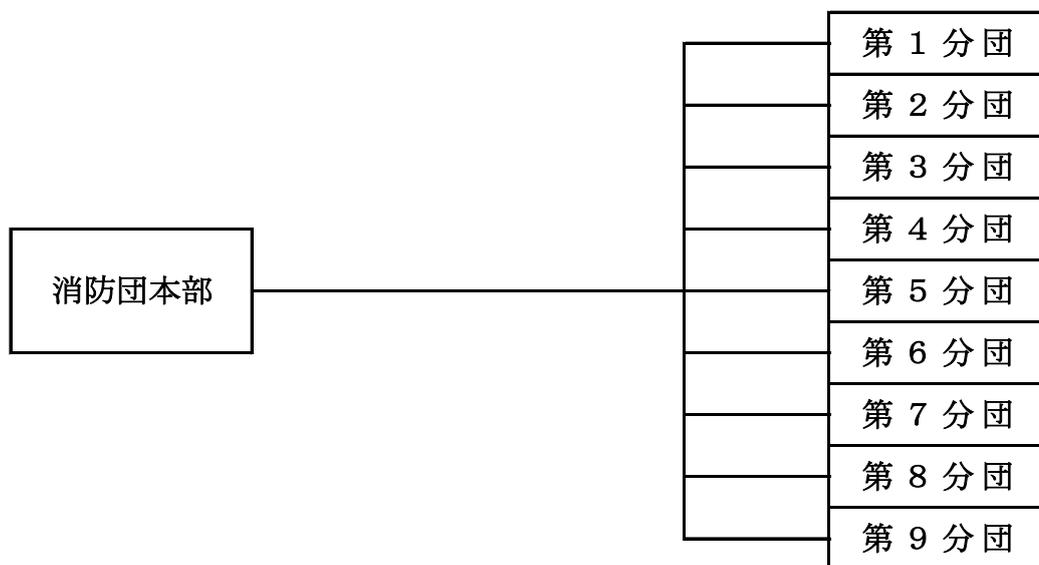
# 総務課

# 1 消防機構

## 【消防本部・署】



## 【消防団】



## 2 過去10年の人口及び世帯数

年 人口等	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
人口	89,212	88,813	87,936	86,974	86,276	85,120	83,995	83,156	82,500	81,420
世帯数	37,259	37,533	37,602	37,602	37,898	37,933	37,778	38,151	38,455	38,640

## 3 消防予算一般会計と消防費 (単位：千円)

年度	一般会計予算 (A)	消防費 (B)	構成比 (B÷A×100) %
令和6年	36,591,149	1,221,102	3.3

## 4 消防費の内訳 (単位：千円)

常備消防費	非常備消防費	消防施設費	水防費	災害対策費
805,325	47,331	215,299	34,191	118,956

## 5 消防費の財源内訳 (単位：千円)

消防費	特定財源			一般財源
	国府支出金	地方債	その他	
1,221,102	19,769	129,900	8,927	1,062,506

## 6 職員の階級別配置 (令和6年12月31日現在)

階級	種別	毎 日 勤 務 者	隔 日 勤 務 者			計
			本 署	水 間 出張 所	二 色 出張 所	
消防司令長		1				1
消防司令		8	6			14
消防司令補		2	16	1	1	20
消防士長		1 (1)	17	4	6	28 (1)
消防副士長			(3)			(3)
消防士		3	19	5	3	30
計		15 (4)	58	10	10	93 (4)

※ ( ) 内は短時間再任用職員数

## 7 職員の年齢状況 (令和6年12月31日現在)

階級	年齢						計
年齢	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
20歳未満							0
20歳～25歳						20	20
26歳～30歳				6		7	13
31歳～35歳			1	7		3	11
36歳～40歳			2	5			7
41歳～45歳		1	4				5
46歳～50歳		1	5	2			8
51歳～55歳		6	5	6			17
56歳～60歳	1	6	1	2			10
61歳以上			2	(1)	(3)		2 (4)
計	1	14	20	28 (1)	(3)	30	93 (4)
平均年齢	57.0	54.6	48.5	40.9	64.0	25.4	40.6

※ ( ) 内は短時間再任用職員数

## 8 職員の勤続年数 (令和6年12月31日現在)

階級	年齢						計
年齢	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
5年以下				2		21	23
6年～10年				8		8	16
11年～15年			1	4		1	6
16年～20年		1	5	4			10
21年～25年			1				1
26年～30年		1	5	3			9
31年～35年		7	5	6			18
36年以上	1	5	3	1 (1)	(3)		10 (4)
計	1	14	20	28 (1)	(3)	30	93 (4)
平均勤続年数	37.0	33.7	27.6	19.3	43.3	4.1	19.3

※ ( ) 内は短時間再任用職員数

## 9 消防庁舎の現況

	消防本部（消防署）	水間出張所	二色出張所
所在地	鳥羽122-1	三ツ松750-8	二色2-2-1
敷地面積	2,314.04㎡	184.07㎡	1,933㎡
建築面積	632㎡	109.81㎡	447㎡
延べ面積	1,633㎡	323.85㎡	641㎡
構造	鉄筋コンクリート造3階建	鉄筋コンクリート造3階建	鉄筋コンクリート造2階建
業務開始	昭和50年3月19日	平成21年3月1日	平成2年10月1日

## 10 職員の教養関係（消防学校関係）

### ◇府立消防学校等

教育種別	派遣者数	教育種別	派遣者数
初任教育課程	4	特別教育（通信指令研修）	1
専科教育（警防科）	1	特別教育（採用後3年目研修）	1
専科教育（火災調査科）	1	救急救命士養成課程	1
専科教育（予防科消防用設備課程）	1	幹部教育（中級幹部科）	1

### ◇職員の教養資格取得数

教養別	階級別	消防司令長		消防司令		消防司令補		消防士長		消防副士長		消防士		計
大阪府立消防学校等	救急Ⅰ課程	1		3	3	1	(1)		(3)			8	(4)	
	救急Ⅱ課程	1		3	3	1	(1)		(3)			8	(4)	
	救急標準課程(救急科)			11	17	27					28	83		
	救急救命士課程			5	10	12	(1)		(1)	3		30	(2)	
	気管挿管認定			2	10	10	(1)		(1)	1		23	(2)	
	ビデオ喉頭鏡認定			1	10	9	(1)		(1)			20	(2)	
	薬剤投与認定			3	10	11	(1)		(1)	2		26	(2)	
	処置拡大2行為認定			2	9	11			(1)	2		24	(1)	
	指導救命士				2							2		
	上級幹部科	1		2	1							4		
	中級幹部科			7	2		(1)					9	(1)	
	警防科			3	5	2				2		12		
	救助科			2	5	4			(1)	3		14	(1)	
	予防科（予防課程）			1								1		
	予防科（防火査察課程）				2	1				1		4		
	予防科（消防用設備課程）				2	1				1		4		
	予防科（危険物課程）			1	3	1				1		6		
	予防科（予防査察課程）			2	1	1			(1)			4	(1)	
	火災調査科			1	2	6			(1)			9	(1)	
	特殊災害科(災害対策課程)			2	2		(1)					4	(1)	
	生物化学災害対策特別講習								(1)			0	(1)	
	はしご自動車技術講習			1								1		
	採用後3年目研修					6				17		23		
通信指令研修			2	2	2				1		7			
教育技法研修			1								1			
消防英会話講習			2	1							3			
エレベーター事故救出研修			1								1			
計		3		58	102	106	(8)		(15)	62	331	(23)		

※（ ）内は短時間再任用職員数

## 1.1 職員の研修

教育種別	受講者数	教育種別	受講者数
大阪府新人機関員講習	1	救助隊電気災害研修	1
方面隊指揮研修	1	火薬類取締法研修	1
設備問題研究会	2	指揮受託研修	1
ロープアクセスフレーム講習	1	総務関係実務・消防財政実務研修会	1
消防長研修会	1	全国消防長会視察研修	1
指導救命士の運用に関する勉強会	1	液化石油ガス販売事業者保安講習会	1
データアナライズセミナー	1	予防事務講習会	1
地方自治制度勉強会	1	消防職員体力錬成研修会	2
高度専門教育上級救助研修	1	人工呼吸器装着患者の災害に関する研修会	3
消防職員のための惨事ストレスの理解と予防	2	消防職員安全衛生管理研修会	1
予防技術検定	2	大阪府下違反是正研修会	1
消防法令違反是正事例発表会	2	消防実務講習会	1
予防技術検定受検準備講習会	2	特別研修会	2
指令情報センター実務研修	1	高圧ガス関係保安研修会	1
消防大学校（上級幹部科）	1	火災科学セミナー	2
採用広報担当者対象のオンライン研修会	2	消防法令違反是正研究会	2
保安3法検査同行研修	1	安全運転管理者講習	1
大型自動車運転免許	1	中型自動車運転免許	2
救急隊員研修会等	127	全国救急隊員シンポジウム	1
危険物等事故防止講習会	1	無線従事者養成講習	1
地域防災に活かす地理空間情報研修	1	煙火の消費と保安	1
特別管理産業廃棄物管理責任者講習会	1	大阪府下南ブロック火災調査事例発表会	2
酸素欠乏硫化水素危険作業主任者技能講習	2	火災調査事例発表会（南ブロック）	2
電気講習会	2	火災調査業務推進会	2
玉掛け講習	1	火災調査事例発表会（大阪府下消防長会）	3
小型移動式クレーン講習	1	火災調査事例研究会	3
小児在宅医療地域連絡会議関係機関研修会	2	火災調査研究会	1
原子力防災研修	1	火災調査業務研究会	2
予防技術講習会	1	その他の職員研修等	39

## 1.2 表彰

種類	功績内容	受賞者数
大阪府知事表彰	消防勤続功労章	1
消防庁長官表彰	永年勤続功労章	1
全国消防長会	永年勤続功労者表彰	4
貝塚市消防長表彰	感謝状（消火協力者）	3
〃	感謝状（救急救助活動協力者）	3

## 1.3 主要行事

月日	行事内容
1月7日	消防出初式（※1）
1月21日	文化財防火デーに伴う消防訓練（※2）
3月1日～3月7日	全国山火事予防運動 春の全国火災予防運動
11月9日～11月15日	秋の全国火災予防運動
11月17日	消防署・消防団合同消防訓練
12月21日～12月31日	歳末火災特別警戒

※1 能登半島地震のため中止

※2 雨天のため中止

予 防 課

## 1 主な予防課年間行事

月 別	行 事	備 考
1 月	消防出初式	能登半島地震のため中止
	防火図画展	市民図書館 1月6日～15日
2 月	防火図画表彰式	幼年消防クラブ結成幼稚園
	防火ポスター配布	市内各事業所
3 月	春の全国火災予防運動	3月1日～7日
	街頭防火キャンペーン	コープ貝塚店 (3/9)
	防火図画列車展示	水間鉄道 3月1日～15日
4 月	少年消防クラブ入隊式及び修了式	消防本部(4/21)
5 月	幼年消防クラブ入隊式	各幼稚園
6 月	危険物施設立入検査	6月中
	危険物安全週間	6月2日～8日
7 月	少年消防クラブ防災研修会	消防本部(7/7)
10月	防火図画審査	消防本部(10/10)
	大阪府女性防火クラブ指導者研修会	大阪府立消防学校 大会議室 (10/16)
11月	秋の全国火災予防運動	11月9日～15日
	街頭防火キャンペーン	イオン貝塚店(11/11)
	防火ポスター配布	市内各事業所
	管内ローリー立入検査	消防本部
	危険物等積載車両一斉取締り	貝塚市 (11/6)
	大阪府女性防火クラブ連絡協議会南ブロック研修会	深川本店 (貝塚市) (11/8)
	貝塚市少年消防クラブ・貝塚女性防火クラブ・貝塚女性消防隊合同山林防火活動	大阪府立少年自然の家 (11/3)
12月	防火図画列車展示	水間鉄道 12月6日～12月22日
	大阪府防火クラブ大会	大阪府新別館 南館(12/11)
	歳末火災特別警戒	市内全域

## 2 立入検査・調査関係

項 目	延 件 数
消防用設備等願届に伴う検査と調査	77
危険物製造所等に係る検査	24
保安3法関係施設に係る検査	4
火災原因調査	26
立入検査	60

### (立入検査の内訳)

項 目	検査件数 (件)
防火対象物	9
危険物・保安3法関係施設	51
合 計	60

### 3 防火対象物の現況

項 別	対 象 物 の 名 称		対象物数
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	1
	ロ	公会堂・集会場	101
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ	1
	ロ	遊技場・ダンスホール	3
	ハ	風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律に規定する性風俗関連特殊営業を営む店舗	0
	ニ	カラオケボックスその他遊興のための設備又は物品を個室において客に利用される役務を提供する業務を営む店舗	2
3	イ	待合・料理店	4
	ロ	飲食店	76
4	百貨店・マーケット・店舗・展示場		127
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	25
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	643
6	イ	病院・診療所・助産所	68
	ロ	老人短期入所施設・養護老人ホーム等各施設（主として要介護状態にある者を入居させるものに限る。）	66
	ハ	老人デイサービスセンター・軽費老人ホーム・保育所等各施設（主として要介護状態にある者を入居させるものを除く。）	140
	ニ	幼稚園・特別支援学校	9
7	小・中・高等学校・大学・専修学校・各種学校		91
8	図書館・博物館・美術館		2
9	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場・熱気浴場その他これらに類するもの	0
	ロ	イ以外の公衆浴場	7
10	車両の停車場・船舶・航空機の発着場		22
11	神社・寺院・教会		70
12	イ	工場・作業場	490
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	0
13	イ	自動車車庫・駐車場	50
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫	0
14	倉庫		314
15	前各項に該当しない事業場		505
16	イ	複合用途防火対象物1～4・5イ・6・9イが存在するもの	161
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	46
16の2	地下街		0
16の3	準地下街		0
17	重要文化財建造物		2
18	延長50メートル以上のアーケード		0
合 計			3,026

### 4 用途別中高層建築物（4階以上）の現況

用途別	階数	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	26階
		1項ロ	1											
3項	イ	1												
	ロ				1									
4項			3											
5項	イ	2				1								
	ロ	41	116	15	12	14	5	7	5		3	7	5	1
6項	イ	8	3		2	1								
	ロ	6	5											
	ハ	1	3											
7項	12	1	1											
12項イ	8	2		2										
13項イ	2	1												
14項	5	2												
15項	12	2	2											
16項	イ	17	15	10	4	5		2		1				
	ロ	5	3		1									
合 計		121	156	28	22	21	5	9	5	1	3	7	5	1

## 5 火災予防条例の対象となる施設

種 別	現 在 数
少 量 危 険 物 施 設	1 2 6
指 定 可 燃 物 施 設	3 8
合 計	1 6 4

## 6 圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱施設

種 別	現 在 数
圧 縮 ア セ チ レ ン ガ ス	7
無 水 硫 酸	0
液 化 石 油 ガ ス	1 5 2
生石灰（酸化カルシウム80%以上を含有するもの）	0
政 令 別 表 第 1 で 定 め る 毒 物	0
政 令 別 表 第 2 で 定 め る 劇 物	1 1
合 計	1 7 0

## 7 月別建築同意事務処理状況

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
同意数	4	9	4	6	6	4	7	2	6	6	4	6	64

## 8 消防用設備関係文書処理数

文 書 名	件数(件)	文 書 名	件数(件)
防火対象物使用開始届	63	消防計画届	113
工事整備対象設備等着工届	58	防災管理者選任(解任)届	4
消防用設備等設計届	47	消防訓練実施報告書	137
消防用設備等設置届	194	発電・変電・蓄電池設備設置届	9
消防用設備等点検結果報告	666	防火管理講習修了証再交付申請書	3
防火管理者選任(解任)届	105	防火対象物点検結果報告書	28
消防用設備等設置計画書	21	消防用設備等特例適用申請書	0
建築確認消防同意	64	露店等開設届出書	1
防火対象物休止届	1	統括防火管理者選任(解任)届出書	0
防火対象物廃止届	5	全体についての消防計画届出書	0
防火対象物名称変更届(代表者変更含む)	20	開発協議書	20
改善計画書	0	防災管理点検結果報告書	2
行政情報公開請求書	2	防災管理に係る消防計画届	0
消防法令適合通知交付申請書	5	工事中の消防計画届出書	0
その他報告・届出書	7	工事を施行するための現場に設ける事務所の届出	6
炉・ボイラー等設置変更廃止届出	5		

## 9 消防用設備等の設置に伴う届

種 別	届 別	着工届・設計届数	設置届数
消 火 器 具			46
屋 内 消 火 栓 設 備		0	0
ス プ リ ン ク ラ ー 設 備		3	3
屋 外 消 火 栓 設 備		0	0
自 動 火 災 報 知 設 備		40	60
動 力 消 防 ポ ン プ 設 備		1	1
消 防 機 関 へ 通 報 す る 火 災 報 知 設 備		7	8
非 常 警 報 器 具 及 び 設 備		13	11
避 難 器 具		3	3
誘 導 灯 及 び 誘 導 標 識		37	60
連 結 送 水 管		0	0
非 常 コ ン セ ン ト 設 備		0	0
不 活 性 ガ ス 消 火 設 備		0	0
粉 末 消 火 設 備		0	1
泡 消 火 設 備		0	0
パ ッ ケ ー ジ 型 消 火 設 備		1	1
合 計		105	194

### 10 消防用設備等の設置状況

防火対象物の区分	消防用設備等の種類	屋内消火栓設備	スプリンクラー設備	泡消火設備	ハロゲン化物消火設備	粉末消火設備	屋外消火栓設備	自動火災報知設備	漏電火災警報器	消防機関へ通報する火災報知設備	非常警報器具及び設備	避難器具	誘導灯及び誘導標識	消防用水	排煙設備	連結送水管	非常コンセント設備	連結散水設備	不活性ガス消火設備	動力消防ポンプ設備	
1	イ						1	35	2	3	42	14	88								
	ロ	7	1											1	1						
2	イ							3				1	3								
	ロ																				
	ハ二					1		2			1	2									
3	イ							4	1			2	4								
	ロ							17			29	4	61			1					
4		6	12	1		4	1	50	2		40	4	106	1	1						
5	イ	5				1	4	24	7	7	4	6	24	3		1					
	ロ	16		1	1	19	1	169	6	1	98	163	131	19		62	21				
6	イ	8	8					36	10	21	5	13	59		1	4				1	
	ロ	1	57				7	63	7	60		20	59	1							
	ハ	7	3					71	5	37	19	25	133	1	1						
	二	1						9	1				8								
7		62			1		71	8	3	6	17	48	9		1						
8		1			1		1			1	1	1									
9	イ																				
	ロ	2		1		1		4					6								
10		1						1			1		2								
11						1		17	1	2	3		8								
12	イ	87	1	1	3	7	67	200	12		2	13	154	29	1	3		1	5	9	
	ロ																				
13	イ	1		3	1	17	1	22		1			8	1		1				3	
	ロ																				
14		41		1	1	3	27	135	6		3	5	84	6		1				1	2
15		18	2	1	4	5	28	142	13	2	47	25	174	10	1					9	2
16	イ	13	8		2	9	1	96	9	9	29	50	126	2	2	16	1	1	5		
	ロ	2				2	1	16	1		8	8	21			1					
16の2																					
16の3																					
17		2					1	2		2			1								
18																					
計		281	92	9	12	71	141	1,190	91	148	337	372	1,311	83	8	91	22	2	24	13	

### 11 危険物施設等の推移

区分	年 別	R 2年	R 3年	R 4年	R 5年	R 6年
		製造所	1	1	1	1
貯蔵所	屋内貯蔵所	37	38	40	39	38
	屋外タンク貯蔵所	11	11	10	10	6
	屋内タンク貯蔵所	7	8	7	7	7
	地下タンク貯蔵所	21	21	22	22	22
	簡易タンク貯蔵所	3	3	3	3	3
	移動タンク貯蔵所	28	39	42	43	48
	屋外貯蔵所	4	4	4	4	3
取扱所	給油取扱所	23	22	22	22	22
	一般取扱所	16	17	16	16	16
合計	151	164	167	167	166	

## 1 2 証書等の発行件数

証 書 名	件 数	証 書 名	件 数
危険物製造所等設置許可書	6	保安機関認定更新書	9
危険物製造所等変更許可書	7	保安業務規程変更認可書	1
危険物製造所等仮使用承認書	3	消防用設備等設置指示書（消防同意等）	28
予防規程変更認可書	2	防火管理講習受講修了証（再交付）	3
危険物仮貯蔵・仮取扱い承認書	1	消防用設備等検査済証	41
火薬類（煙火）消費許可証	2	り 災 等 証 明 書	18
高圧ガス製造施設等変更許可書	3		
		合 計	124

## 1 3 危険物関係文書処理数

文 書 名	件 数	文 書 名	件 数
危険物製造所等設置許可申請	6	少量危険物指定可燃物貯蔵取扱（新規・変更）届	13
危険物製造所等設置完成検査申請	6	少量危険物・指定可燃物（廃止・休止・中止）届	2
危険物製造所等変更許可申請	8	危険物製造所等廃止届	9
危険物製造所等変更完成検査申請	5	危険物保安監督者選任・解任届	23
危険物製造所等仮使用承認申請	3	危険物製造所等完成検査前検査申請	11
危険物仮貯蔵・仮取扱い承認申請	1	危険物製造所等事故発生届	1
予防規程制定（変更）認可申請	3	危険物製造所等許可申請書等取下願出書	1
軽 微 な 変 更 届	18	危険物取扱者選任・解任届	9
危険物製造所等設置者の氏名・名称・住所変更届	28	圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱の開始（廃止）届	2
危険物製造所等品名、数量又は指定数量の倍数変更届	7	少量危険物指定可燃物貯蔵・取扱タンク水張水圧検査申請	3
危険物製造所等譲渡・引渡届	3		
		合 計	162

#### 14 火薬類取締法関係文書処理数

文 書 名	件 数	文 書 名	件 数
保 安 検 査 申 請	1	火薬庫共同占有許可申請書記載事項変更届	1
火 薬 類 消 費 許 可 申 請	2	火 薬 庫 出 納 高 報 告 書	34
火 薬 庫 外 貯 蔵 所 指 示 申 請	1	火 薬 庫 定 期 自 主 検 査 届	3
火 薬 庫 定 期 自 主 検 査 結 果 報 告 書	16		
		合 計	58

#### 15 液化石油ガス法関係文書処理数

文 書 名	件 数	文 書 名	件 数
液 化 石 油 ガ ス 販 売 所 等 変 更 届	3	液 化 石 油 ガ ス 設 備 工 事 届	1
液 化 石 油 ガ ス 販 売 事 業 承 継 届 ( 乙 )	1	特 定 液 化 石 油 ガ ス 設 備 工 事 事 業 開 始 届	1
業 務 主 任 者 等 選 任 ・ 解 任 届	2	特 定 液 化 石 油 ガ ス 設 備 工 事 事 業 変 更 届	2
保 安 機 関 認 定 更 新 申 請	10	特 定 液 化 石 油 ガ ス 設 備 工 事 事 業 廃 止 届	1
保 安 業 務 規 程 変 更 認 可 申 請	1	保 安 業 務 実 施 状 況 報 告	16
保 安 機 関 変 更 届	1	液 化 石 油 ガ ス 販 売 事 業 報 告	16
保 安 機 関 承 継 届 ( 乙 )	1		
		合 計	56

#### 16 高圧ガス保安法関係文書処理数

文 書 名	件 数	文 書 名	件 数
高 圧 ガ ス 製 造 許 可 申 請 ( 一 般 )	1	高 圧 ガ ス 販 売 事 業 承 継 届 ( 液 石 )	1
製 造 施 設 完 成 検 査 申 請 ( 一 般 )	1	高 圧 ガ ス 販 売 主 任 者 届 ( 液 石 )	1
高 圧 ガ ス 販 売 事 業 承 継 届 ( 一 般 )	1	指 定 保 安 検 査 機 関 保 安 検 査 受 験 届 ( 液 石 )	2
高 圧 ガ ス 製 造 開 始 届 ( 一 般 )	1	保 安 検 査 結 果 報 告 書 ( 指 定 保 安 検 査 機 関 ) ( 液 石 )	2
貯 蔵 所 廃 止 届 ( 一 般 )	1	事 故 届 ( 特 定 消 費 設 備 に 係 る 事 故 ) ( 液 石 )	1
高 圧 ガ ス 販 売 事 業 廃 止 届 ( 一 般 )	2	高 圧 ガ ス 製 造 届 ( 冷 凍 )	1
危 害 予 防 規 程 届 ( 一 般 )	1	高 圧 ガ ス 製 造 施 設 等 変 更 許 可 申 請 ( 冷 凍 )	2
特 定 高 圧 ガ ス 取 扱 主 任 者 届 ( 一 般 )	1	製 造 施 設 完 成 検 査 申 請 ( 冷 凍 )	1
保 安 検 査 申 請 ( 一 般 )	1	高 圧 ガ ス 製 造 廃 止 届 ( 冷 凍 )	2
指 定 保 安 検 査 機 関 保 安 検 査 受 験 届 ( 一 般 )	1	事 故 届 ( 冷 凍 )	6
保 安 検 査 結 果 報 告 書 ( 指 定 保 安 検 査 機 関 ) ( 一 般 )	1	氏 名 ・ 名 称 ・ 住 所 等 の 変 更 届	15
		合 計	46

### 17 月別の危険物等手数料状況

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

月	許可・完検手数料		タンク手数料		承認手数料等		合計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
1月	3	33,000	0	0	0	0	3	33,000
2月	1	6,500	0	0	0	0	1	6,500
3月	2	19,500	0	0	0	0	2	19,500
4月	1	26,000	5	30,000	2	10,800	8	66,800
5月	2	39,000	0	0	1	5,400	3	44,400
6月	0	0	2	12,000	0	0	2	12,000
7月	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	1	39,000	2	17,000	0	0	3	56,000
9月	1	6,500	0	0	0	0	1	6,500
10月	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	7	152,750	1	6,000	1	5,400	9	164,150
12月	5	65,000	1	6,000	0	0	6	71,000
合計	23	387,250	11	71,000	4	21,600	38	479,850

### 18 月別の高圧ガス等手数料状況

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

月	火 薬		高圧ガス		液化石油ガス		合計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
1月	0	0	0	0	1	48,500	1	48,500
2月	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	3	145,500	3	145,500
4月	1	41,000	2	28,000	1	48,500	4	117,500
5月	0	0	1	68,000	2	97,000	3	165,000
6月	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	1	7,900	0	0	2	97,000	3	104,900
8月	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	1	51,000	0	0	1	51,000
10月	1	7,900	0	0	0	0	1	7,900
11月	0	0	2	107,000	0	0	2	107,000
12月	0	0	0	0	1	48,500	1	48,500
合計	3	56,800	6	254,000	10	485,000	19	795,800

## 19 民間防火組織及び自主防火組織の現状

### (1) 貝塚市火災予防協会

会 員 数 199 会員 (うち、特別会員 1 会員 )

### (2) 消防クラブ等の現状

組 織 名	人 数
貝 塚 市 幼 年 消 防 ク ラ ブ	464
貝 塚 市 少 年 消 防 ク ラ ブ	28
貝 塚 女 性 防 火 ク ラ ブ	30
貝 塚 女 性 消 防 隊 ( 2 隊 )	16

## 20 民間防火組織及び自主防火組織の育成指導

### (1) 民間防火組織

#### ① 貝塚市火災予防協会

「災害のない明るい貝塚市」を目指し、市内各事業所からなり、会員相互の融和を基本として消防機関の行う各種行事に協力している。特に幼年消防クラブ結成幼稚園をはじめ、小・中学校児童・生徒に対し防火図画の募集を行い幼少年期における防火思想の普及を図った。

(応募総数) 小・中学校児童 797 点  
幼年消防クラブ 418 点

#### ② 貝塚市幼年・少年消防クラブ、貝塚女性防火クラブ

火に対して興味を持ち始める幼少年、及び日常生活において火気を取り扱うことの多い女性が、正しい防火防災に関する知識を身につけるとともに、地域住民の防火意識の高揚を図ることを目的に結成され、街頭防火キャンペーンなどに参加し、地域住民への火災予防PRに努めている。

### (2) 自主防火組織

「自分たちの地域は、自分たちで守る。」という連帯意識の高揚を図り、安全で明るいまちを築くことを目的に、市内には津田校区と蕎原の2地区で貝塚女性消防隊が組織され、消防が行う諸行事、訓練等に積極的に参加し、安全な地域社会の構築を目指していく。

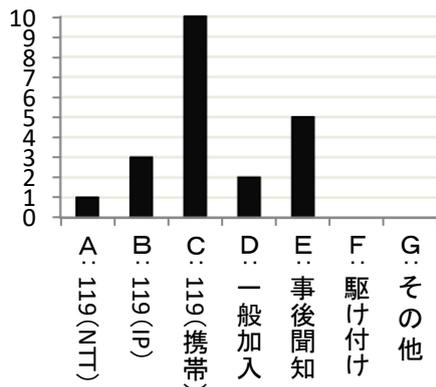
# 火災概況

# 1 月別火災概況

種別		月別												計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
火災件数	建物	1			3	1	4	3	4			1	1	18
	林野													0
	車両	1												1
	船舶													0
	その他				1	1								2
	計	2	0	0	4	2	4	3	4	0	0	1	1	21
焼損棟数	全焼						1	1	2			1		5
	半焼													0
	部分焼							2	1					3
	ぼや	1			3	1	3	1	4			2	1	16
	計	1	0	0	3	1	4	4	7	0	0	3	1	24
焼損面積	床面積㎡						337	10	375			68	2	792
	表面積㎡				1		1	14	20					36
	林野a													0
り災世帯	全損											1		1
	半損													0
	小損				3		2	2	1			1		9
	計	0	0	0	3	0	2	2	1	0	0	2	0	10
り災人員				8		3	2	2			8		23	
死傷者	死者													0
	傷者				1									1
損害見積額 (千円)	建築物						65,021	171	11,333			25,178	728	102,431
	収容物	7			357	45	2,515	235	3,174			96		6,429
	小計	7	0	0	357	45	67,536	406	14,507	0	0	25,274	728	108,860
	林野													0
	車両	107												107
	船舶													0
	その他													0
	合計	114	0	0	357	45	67,536	406	14,507	0	0	25,274	728	108,967
署	出動台数	6			11	13	17	18	14			8	6	93
	出動人員	18			37	42	57	55	42			24	18	293
団	出動台数					1	2	2	4			1		10
	出動人員					15	26	23	45			18		127

※ 焼損棟数には、類焼含む。

## 2 火災の覚知状況

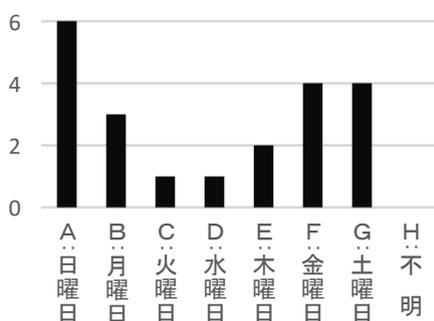


### 覚知別

(単位：件数)

A: 119 (NTT)	1
B: 119 (IP)	3
C: 119 (携帯)	10
D: 一般加入	2
E: 事後聞知	5
F: 駆け付け	0
G: その他	0
計	21

## 3 曜日別火災発生状況



### 曜日別火災件数

(単位：件数)

A: 日曜日	6
B: 月曜日	3
C: 火曜日	1
D: 水曜日	1
E: 木曜日	2
F: 金曜日	4
G: 土曜日	4
H: 不明	0
計	21

### (曜日別損害額)

曜日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	不明	合計
件数	6	3	1	1	2	4	4	0	21
損害額 (千円)	37,809	175	67,491	1	0	2,718	773	0	108,967

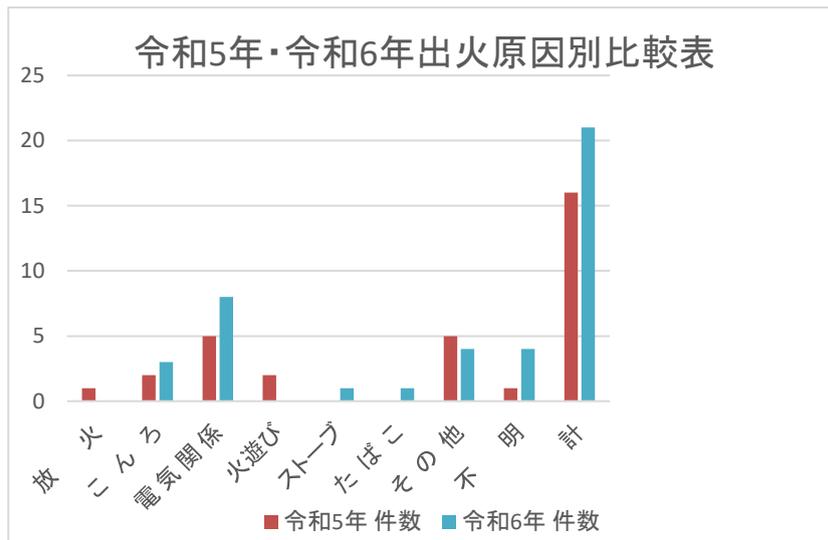
## 4 用途別出火原因状況

原因別 \ 用途別	計	住宅	共同住宅	工場 作業場	その他 建物	林野	車両	その他
放 火	0							
こ ん ろ	3	1	1		1			
電 気 関 係	8	4		3	1			
放火の疑い	0							
火 遊 び	0							
ストーブ	1	1						
た ば こ	1						1	
そ の 他	4	2			1			1
不 明	4	1			2			1
計	21	9	1	3	5	0	1	2

## 5 月別出火原因状況

原因別 \ 月別	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
放 火	0												
こ ん ろ	3	1					1	1					
電 気 関 係	8				1	1	1	1	3				1
放火の疑い	0												
火 遊 び	0												
ストーブ	1				1								
た ば こ	1	1											
そ の 他	4				2		1		1				
不 明	4					1	1	1				1	
計	21	2	0	0	4	2	4	3	4	0	0	1	1

## 6 令和5年・令和6年出火原因別比較表



原因別	令和5年		令和6年	
	件数	%	件数	%
放 火	1	6	0	0
こ ん ろ	2	13	3	14
電 気 関 係	5	31	8	38
火 遊 び	2	13	0	0
ス ト ー ブ	0	0	1	5
た ば こ	0	0	1	5
そ の 他	5	31	4	19
不 明	1	6	4	19
計	16	100	21	100

## 7 時間別火災発生状況

時間	種別	合計	建物	林野	車両	その他(船舶含む)
		件数	件数	件数	件数	件数
0～1		1	1			
1～2		3	3			
2～3		0				
3～4		0				
4～5		1	1			
5～6		1	1			
6～7		0				
7～8		0				
8～9		2	2			
9～10		1	1			
10～11		1				1
11～12		0				
12～13		1	1			
13～14		1	1			
14～15		1				1
15～16		2	2			
16～17		1	1			
17～18		1	1			
18～19		1	1			
19～20		2	1		1	
20～21		0				
21～22		0				
22～23		1	1			
23～24		0				
不明		0				
計		21	18	0	1	2

## 8 年次別火災概況

年		R. 2	R. 3	R. 4	R. 5	R. 6
出火件数	建物	6	13	11	10	18
	林野	1	0	0	0	0
	車両	1	2	0	2	1
	船舶	0	0	0	0	0
	その他	2	0	2	4	2
	計	10	15	13	16	21
焼損棟数	全焼	4	7	3	3	5
	半焼	1	2	2	0	0
	部分焼	2	2	1	2	3
	ぼや	3	10	7	9	16
	計	10	21	13	14	24
焼損面積	床面積 m <sup>2</sup>	1,851.4	582.7	366.6	819.8	792
	表面積 m <sup>2</sup>	2.5	2.0	16.5	1.0	36
	林野 a	25.0	0.0	0.0	0.0	0
り災世帯	全損	5	3	1	1	1
	半損	0	2	0	0	0
	小損	4	8	2	3	9
	計	9	13	3	4	10
り災人員		24	35	10	16	23
死傷者	死者	3	0	0	0	0
	傷者	4	5	2	2	1
損害見積額 (千円)	建築物	35,972	8,315	8,601	46,785	102,431
	収容物	35,454	7,171	26,447	21,857	6,429
	小計	71,426	15,486	35,048	68,642	108,860
	林野	0	0	0	0	0
	車両	7,790	3,798	326	992	107
	船舶	0	0	0	0	0
	その他	780	308	42	4,382	0
	合計	79,996	19,592	35,416	74,016	108,967

警 備 課

# 1 警備活動状況

## (1) 火災出動

区 分	回 数 (回)	延 人 員 (人)
火 災 出 動	17	296

※上記は、事後聞知等で調査員のみ出動した事案4件を含まない。

## (2) 非火災出動

区 分	回 数 (回)	延 人 員 (人)
火 災 未 然 防 止	23	172
火 煙 調 査	5	15
誤 報 出 動	8	94
虚 報 出 動	3	36
交 通 事 故 に よ る 燃 料 漏 れ 処 理	4	16
自 動 火 災 報 知 設 備 作 動	44	496
そ の 他	0	0
合 計	87	829

## (3) 警備出動

区 分	回 数 (回)	延 人 員 (人)
交 通 事 故 に よ る オ イ ル 漏 れ 処 理	39	137
高 速 道 路 等 の 活 動 支 援	6	32
一 般 道 路 等 の 活 動 支 援	27	111
そ の 他	342	1,286
合 計	414	1,566

## (4) その他の活動状況

区 分	回 数 (回)	延 人 員 (人)
地 水 利 調 査	98	263
広 報 宣 伝	7	20
消 防 訓 練	273	191(14, 118)
救 助 訓 練	242	1,886
迷 惑 駐 車 パ ト ロ ー ル	9	28
救 助 工 作 車 資 器 材 等 取 扱 訓 練	50	400
一 般 救 急 講 習	41	70(1,033)
普 通 救 命 講 習 会	23	44(396)
消 防 署 見 学	8	0(312)
消 防 体 験 学 習	0	0(0)
歳 末 火 災 特 別 警 戒	11	278
水 難 救 助 訓 練	19	201
合 計	781	3,381

※( )内の数字は、市民等参加者人数

## 2 火災・救急等の覚知別状況

種 別	火 災 (件)	救 急 (件)
1 1 9 番	3	1, 9 2 7
携 帯 1 1 9 番	10	3, 1 6 3
加 入 電 話	2	5 2 5
駆 け 付 け	0	2 4
阪神高速道路(株)・西日本高速道路(株)等	0	5
事 後 聞 知	5	
そ の 他	1	1 0 8
計	21	5, 7 5 2

## 3 消防水利状況

消火栓			防火水槽			その他
公 設	私 設	計	公 設	私 設	計	プール等
1, 7 3 7	1 2 7	1, 8 6 4	1 6 5	1 5 0	3 1 5	7

## 4 口径別公設消火栓設置状況

口径(mm)	75	100	125	150	200	250	300	350	400	450	500	600	合計
公 設	340	600	2	489	132	41	98	17	11	3	1	3	1,737

## 5 主力機械の配置状況

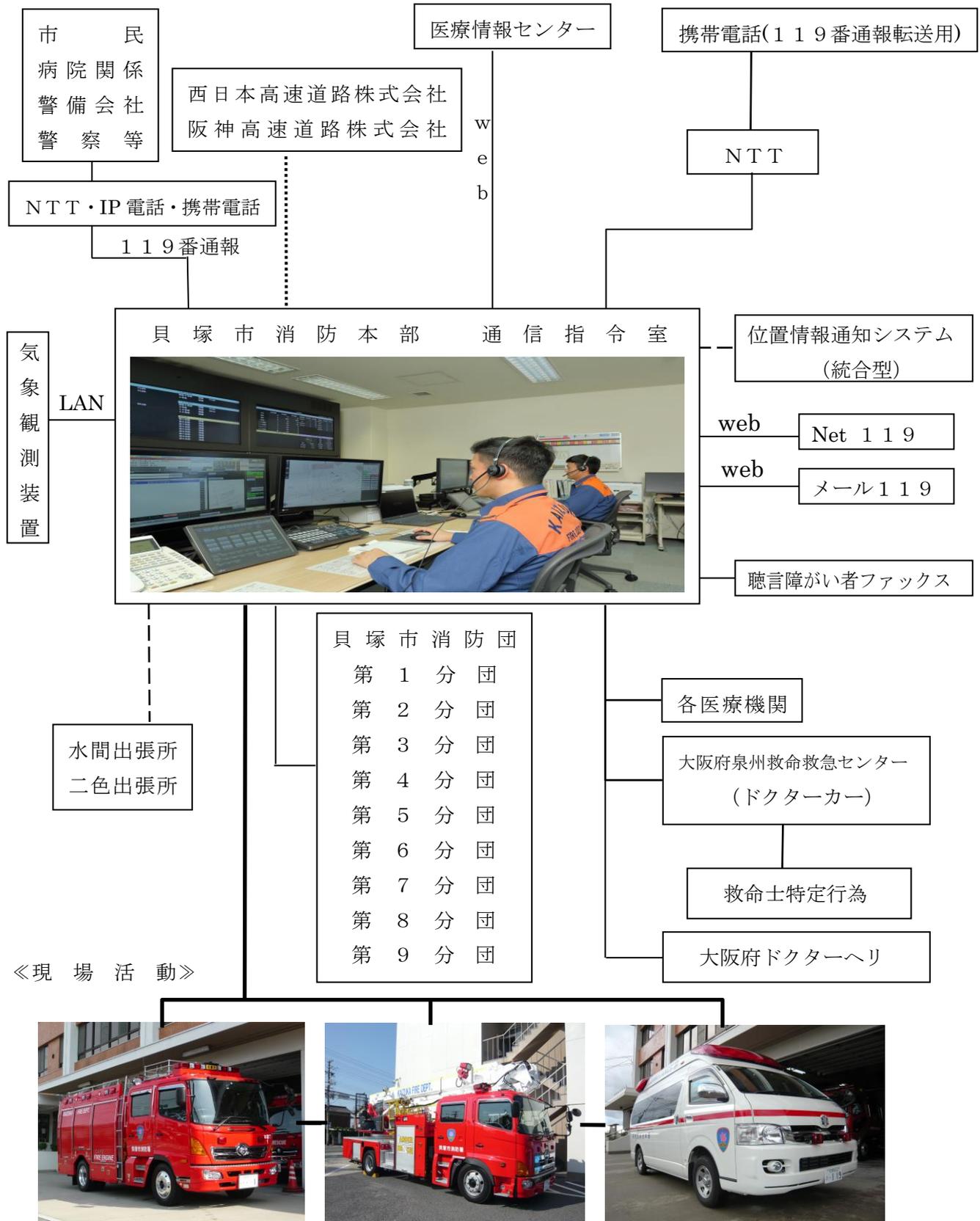
	種 別	車両番号	車名	年 式	型式・ポンプ性能
本 署	水槽付消防ポンプ自動車(キャブス装置付)	和泉810 ほ 1	日 野	H 2 2	水 I-A 型 (らく車付)
	化学消防ポンプ自動車	和泉830 さ 119	ミツビシ	H 1 1	II 型
	消防ポンプ自動車	和泉830 す2303	日 野	R 5	CD-I 型
	救助工作車	和泉830 ん 6	日 野	H 1 6	II 型ウインチ・クレーン・照明
	2.5m屈折梯子付消防自動車	和泉801 た 7	日 野	H 2 1	MSC25-3
	防災活動車	和泉883 い 9	ダイハツ	H 2 0	
	軽四貨物自動車	和泉880 あ 979	ダイハツ	H 2 2	
	ワゴン車	和泉501 と1166	トヨタ	H 1 7	
	査察自動車	和泉501 ら 100	トヨタ	H 2 3	
	広報自動車	和泉483 と 15	ダイハツ	H 2 4	
	ミニバン車	和泉502 そ1437	ニッサン	H 2 5	
	救急自動車	和泉830 さ2312	トヨタ	R 5	
	非常用救急自動車	和泉834 す 119	トヨタ	H 2 7	CBF-TRH226S
	単 車	貝塚市ね 6073	ホンダ	H 8	
	可搬式消防ポンプ		トーハツ	H 1 6	VC72 B-2 級
水 出 張 間 所	消防ポンプ自動車(キャブス装置付)	和泉830 む 4	日 野	H 1 9	CD-I 型水 6000積載(らく車付)
	救急自動車	和泉830 さ2103	トヨタ	R 3	3BF-TRH226S
二 出 張 色 所	消防ポンプ自動車(フォームプロ装置付)	和泉800 る 5	日 野	H 1 8	CD-I 型水 9000積載(らく車付)
	救急自動車	和泉834 な 119	トヨタ	H 2 8	CBF-TRH226S
	資材搬送車	和泉830 ん 13	日 野	H 1 9	
	マイクロバス	和泉200 さ 880	トヨタ	H 2 0	

## 6 消防機械出動状況

区分 車種別	火災	訓練 (内署庭)	一般 業務	救助	非火災	救急	応援	調整	広報	水害	警備	風水害	巡回	走行 回数	走行距離 (km)
水槽付消防ポンプ自動車	13	3 (1)	78	0	58	0	2	5	4	0	87	0	0	249	2,084
化学消防ポンプ 自動車	10	6 (1)	38	0	49	0	2	1	2	0	40	0	1	148	1,349
消防ポンプ自動車	5	40 (8)	79	0	23	0	2	3	5	0	269	0	2	420	2,733
消防ポンプ自動車 (水間出張所)	9	14 (1)	24	0	21	0	0	4	0	0	2	0	2	0	434
消防ポンプ自動車 (二色出張所)	8	11 (7)	26	0	32	0	1	1	2	0	5	0	0	79	452
救助工作車	15	21 (1)	59	91	41	0	0	0	0	0	4	0	1	231	1,844
2.5m 屈折梯子 付消防自動車	1	7 (1)	43	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	53	501
防災活動車	17	6	109	1	48	0	2	1	0	0	99	0	0	283	2,593
軽四貨物自動車	0	16	321	6	3	0	0	0	0	0	2	0	0	348	3,859
ワゴン車	0	1	278	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	279	2,767
査察自動車	0	7	592	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	600	5,669
資材搬送車	0	17	8	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	28	140
マイクロバス	0	26	62	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	90	1,384
広報自動車	0	8	605	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	616	5,992
ミニバン車	0	12	442	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	455	9,477
救急自動車 (本署)	0	1	17	0	0	2,300	0	3	0	0	0	0	0	2,321	26,123
非常用救急自動車	0	4	20	0	0	228	0	2	0	0	1	0	0	255	3,521
救急自動車 (水間出張所)	0	0	132	0	0	2,455	0	4	0	0	0	0	0	2,591	21,546
救急自動車 (二色出張所)	0	2	126	0	0	1,759	0	4	0	0	0	0	0	1,891	24,131

※訓練枠( )内の数字は、署庭での訓練回数

## 7 通信系統図



《現場活動》

——	有線電話
.....	直通電話
- - -	DATA 回線
————	デジタル無線・AVM 装置

## 8 無線電話配置状況

呼 出 名 称	種 別	設 置 場 所	出 力 (W)	備 考
かいしょうほんぶ(デジタル)	基 地 局	消 防 本 部	10	活動波1
〃	〃	〃	〃	活動波2
〃	〃	〃	〃	主運用波
〃	〃	〃	〃	統制波1.2.3
かいしょうきゅうきゅう 1	移動局デュアル機(車載)	本署救急車	5	1+12波
〃 3	〃	水間救急車	〃	〃
〃 4	〃	二色救急車	〃	〃
〃 5	〃	非常用救急車	〃	〃
かいしょう 1	〃	本署タンク車	〃	〃
〃 2	〃	本署化学車	〃	〃
〃 3	〃	本署ポンプ車	〃	〃
〃 4	〃	水間ポンプ車	〃	〃
〃 5	〃	二色ポンプ車	〃	〃
〃 6	〃	救助工作車	〃	〃
〃 7	〃	2.5m梯子車	〃	〃
〃 9	〃	防災活動車	〃	〃
〃 10	〃	軽トラック	〃	〃
〃 12	〃	査察車	〃	〃
〃 13	〃	資材搬送車	〃	〃
〃 14	〃	マイクロバス	〃	〃
〃 15	〃	広報車	〃	〃
〃 16	〃	ミニバン車	〃	〃
〃 201	移動局デジタル(携帯)	防災活動車(指揮隊用)	2	12波
〃 202	〃	本署化学車積載	〃	〃
〃 203	〃	本署ポンプ車積載	〃	〃
〃 204	〃	水間ポンプ車積載	〃	〃
〃 205	〃	二色ポンプ車積載	〃	〃
〃 206	〃	救助工作車積載	〃	〃
〃 207	〃	2.5m梯子車積載	〃	〃
〃 208	〃	予備機	〃	〃
〃 209	〃	予備機	〃	〃
〃 210	〃	本署タンク車積載	〃	〃
〃 211	〃	本署救急車積載	〃	〃
〃 212	〃	予備機	〃	〃
〃 213	〃	水間救急車積載	〃	〃
〃 214	〃	二色救急車積載	〃	〃
〃 しき1	移動局デジタル(可搬)	本署(指揮隊使用)	5	〃
〃 しき2	〃	〃	〃	〃
〃 501~530	移動局アナログ(携帯)	署活動系(各隊員使用)	1	4波
〃 91~96	〃	署活動系(予備機)	〃	3波

- (注) 消防救急無線 12波(デジタル) = (活動波1・活動波2・主運用波1~7・統制波1~3)  
 1波(アナログ) = (防災相互波)  
 署活動系 3波(アナログ) = (指揮波・隊長波・隊員波)  
 4波(アナログ) = (指揮波・隊長波・隊員波・防災波)

## 9 有線電話架設状況

種 別	署所別回線数			
	消 防 署	水 間 出 張 所	二 色 出 張 所	消 防 団
1 1 9 番 回 線 ( I P )	4			
加 入 電 話	8	1	1	9
西 日 本 高 速 道 路 (株) 専 用	1			
阪 神 高 速 道 路 (株) 専 用	1			
消 防 指 令 台 専 用	1			
消 防 専 用 電 話	1	1	1	
通 信 衛 星 回 線	2			
F A X 回 線	3	1	1	
携 帯 電 話 1 1 9 番 転 送 回 線	2			
多 国 語 通 訳 回 線	1			
順 次 指 令 回 線	2			
市 民 災 害 案 内 回 線	2			

## 10 無線電話設置状況

デジタル波	周 波 数	アナログ波	周 波 数
活動波1	2 7 0 M H z 帯	署活動系	4 0 0 M H z 帯
活動波2	〃	/	
主運用波	〃		
統制波1・2・3	〃		

基 地 局	移 動 局 (車 載)	移 動 局 (携 帯)	移 動 局 (可 搬)	無 線 受 令 機
1	1 8	5 0	2	1 2

## 11 防災無線設置状況

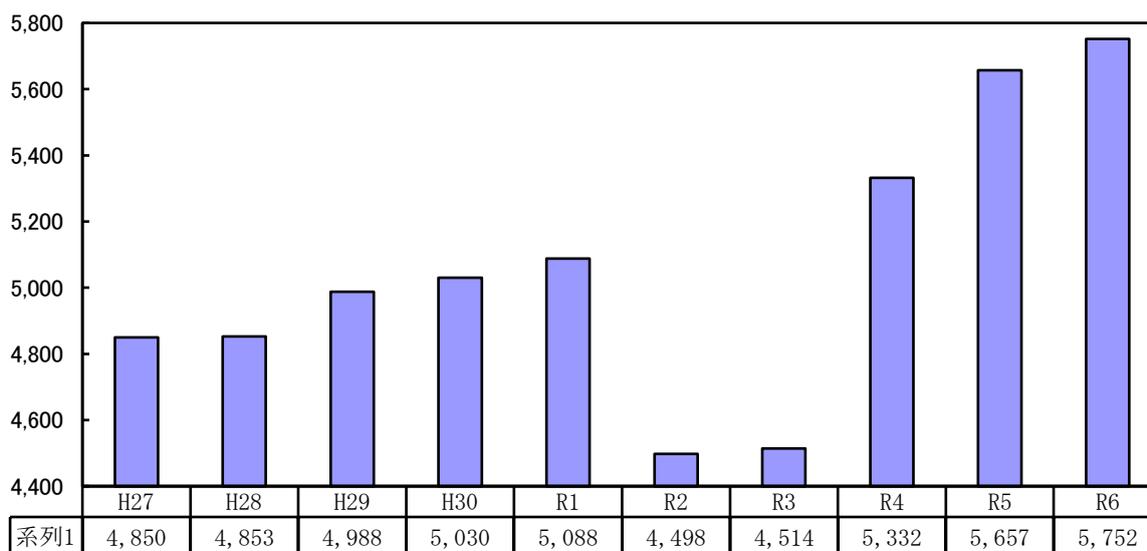
	防 災 相 互 通 信 用 無 線	市 町 村 防 災 行 政 無 線	大 阪 府 防 災 行 政 無 線
呼 出 名 称	か い づ か ぼ う さ い き ょ う 1 1 9	ぼ う さ い か い づ か 6 4	防 災 貝 塚 消 防
周 波 数	1 5 8 . 3 5 M H z	4 6 6 . 6 6 2 5 M H z 4 6 6 . 7 7 5 0 M H z	4 0 0 M H z 帯 M C A 無 線
基 地 局	1	—————	—————
固 定 局	—————	—————	1
移 動 局	—————	1	—————
携 帯 移 動 局	1	—————	—————

救急・救助

### 1 令和5年・令和6年救急出場件数、救急搬送人員比較表

区別	年別	令和5年	令和6年	比較
出 場 件 数		5,657	5,752	95
搬 送 人 員		5,146	5,217	71
不 搬 送 件 数		533	563	30
管 内 搬 送 人 員		2,091	2,372	281
管 外 搬 送 人 員		3,055	2,845	-210

### 2 過去10年の救急出場件数の推移

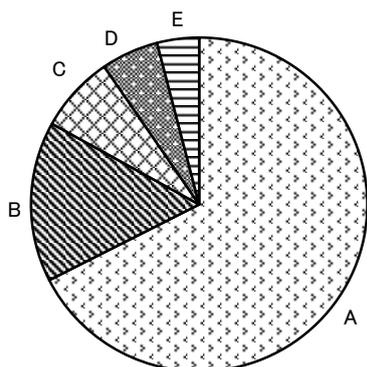


### 3 事故種別救急出場状況

事故種別	合 計	火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害 事 故	運 動 競 技 事 故	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	そ の 他
令和5年	5,657	13	0	6	393	41	29	860	15	53	3,915	294	38
令和6年	5,752	19	0	7	427	59	19	893	15	47	3,883	317	66
比 較	95	6	0	1	34	18	-10	33	0	-6	-32	23	28

注：転院搬送とはAの医療機関に収容されている者を医療機関の要請によりBの医療機関に搬送したことを言う。

### 4 事故種別救急出場構成比

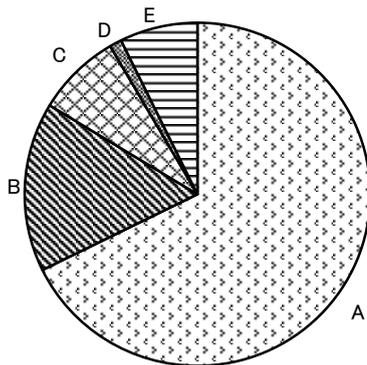


A：急病	3,883件	67.5%
B：一般負傷	893件	15.5%
C：交通事故	427件	7.4%
D：転院搬送	317件	5.5%
E：その他	232件	4.1%
合 計	5,752件	100.0%

## 5 事故種別救急搬送人員状況

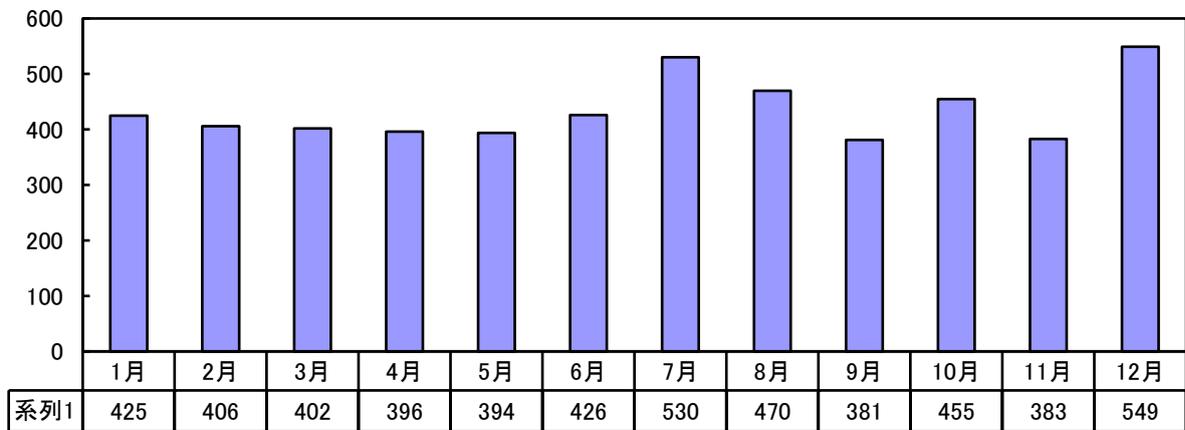
事故種別	合	火	自然	水	交	労働	運動	一般	加	自	急	転	そ
年	計	災	然	難	通	災害	競技	負	害	損	病	院	の
		災	害	事	事	事	事	傷		為		送	他
令和5年	5,146	2	0	5	372	41	28	811	11	35	3,547	294	0
令和6年	5,217	1	0	4	413	59	19	832	13	32	3,533	311	0
比較	71	-1	0	-1	41	18	-9	21	2	-3	-14	17	0

## 6 事故種別救急搬送人員構成比

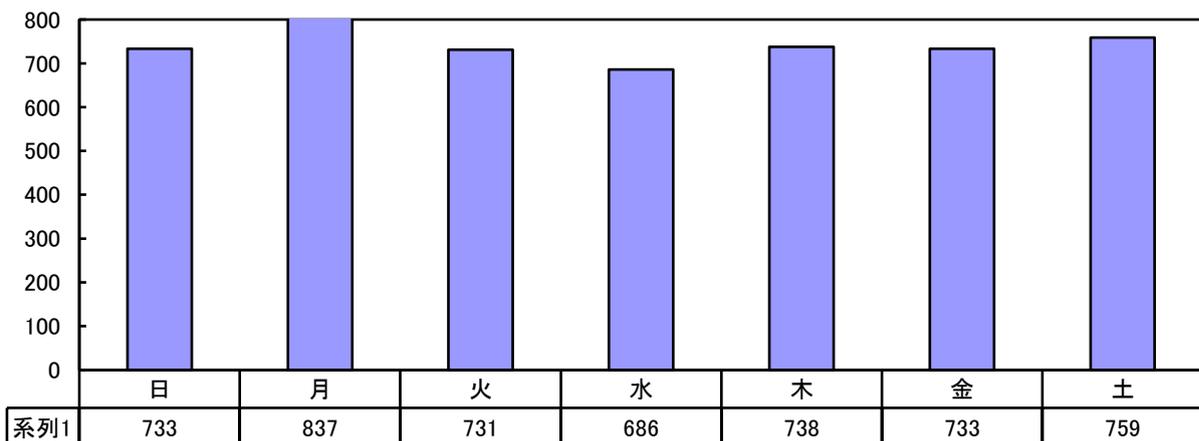


A: 急病	3,533人	67.8%
B: 一般負傷	832人	15.9%
C: 交通事故	413人	7.9%
D: 労働災害事故	59人	1.1%
E: その他	380人	7.3%
合計	5,217人	100.0%

## 7 月別救急搬送人員状況



## 8 曜日別救急搬送人員状況



## 9 時間別救急出場件数状況

時間別 区分	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
合計	131	131	113	96	107	112	156	217	325	374	355	364	321	327	324	297	311	326	279	288	219	205	190	184	5,752

## 10 事故種別及び年齢別救急搬送人員状況

新生児（生後28日以内の者）・乳幼児（生後29日以上、満7歳未満の者）

少年（満7歳以上、満18歳未満の者）・成人（満18歳以上、65歳未満の者）

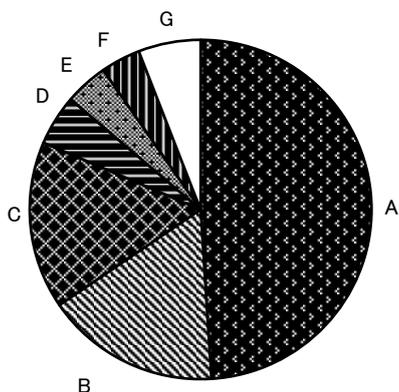
高齢者（満65歳以上の者）

事故種別 区分		火災	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働災 害事故	運動競 技事故	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	計
年 齢 区 分	新生児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	乳幼児	0	0	1	7	0	0	30	0	0	112	9	159
	少年	0	0	2	77	0	7	38	3	3	103	1	234
	成人	1	0	1	231	52	9	137	7	22	939	82	1,481
	高齢者	0	0	0	98	7	3	627	3	7	2,378	219	3,342
合計		1	0	4	413	59	19	832	13	32	3,533	311	5,217

### 1 1 事故種別傷病程度別救急搬送人員状況

事故種別 程度	合計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害事故	運動競技事故	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
死亡	80							2		6	70	2
重症	678				16	6		153		3	420	80
中等症	1,494	1		3	54	12	4	146	2	12	1,063	197
軽症	2,964			1	343	41	15	530	11	11	1,980	32
その他	1							1				
合計	5,217	1	0	4	413	59	19	832	13	32	3,533	311

### 1 2 科目別救急搬送人員構成比



A：内科	2,556人	49.0%
B：整形外科	860人	16.5%
C：脳外科	833人	16.0%
D：循環器科	251人	4.8%
E：外科	214人	4.1%
F：小児科	196人	3.8%
G：その他	307人	5.8%

合計 5,217人 100.0%

### 1 3 救急搬送地域別状況

搬送地域	搬送人員数	医療機関数	搬送地域	搬送人員数	医療機関数
貝塚市	2,372	8	阪南市	6	1
岸和田市	1,983	11	大阪市	8	7
泉佐野市	438	8	河内長野市	2	1
熊取町	164	2	大阪狭山市	19	1
和泉市	138	5	羽曳野市	1	1
泉大津市	44	4	吹田市	2	2
堺市	26	9	枚方市	1	1
高石市	3	2	和歌山県	3	2
泉南市	4	2			
泉州救命ドクターカー	3	1	合計	5,217	68

### 1 4 医療機関紹介件数

診療科目	合計
内科	217
小児科	98
整形外科	74
外科	64
脳外科	36
眼科	18
耳鼻咽喉科	8
産婦人科	2
その他	16
合計	533

### 1 5 高速自動車道における救急出場件数

項目	件数 (件)
阪和自動車道	17
阪神高速	7

## 16 救助出動状況

種別 区分	火災	交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 事故	機械に よる 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	破裂 事故	その他 の事故	計
出動件数	0	11	0	0	1	44	1	0	40	97
出動人員	0	81	0	0	3	430	12	0	314	840
活動件数	0	4	0	0	0	36	1	0	21	62
活動人員	0	59	0	0	0	406	12	0	252	729
救助人員	0	4	0	0	0	36	1	0	11	52

## 17 年次別救助出動状況

種別 区分	火災	交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 事故	機械に よる 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	破裂 事故	その他 の事故	計
令和元年	0	12	3	0	1	25	1	0	33	75
令和2年	2	16	8	0	0	47	1	0	25	99
令和3年	3	17	5	0	1	23	2	0	31	82
令和4年	0	14	2	0	0	39	1	0	29	85
令和5年	1	18	5	0	0	27	0	0	36	87
令和6年	0	11	0	0	1	44	1	0	40	97

消 防 団

## 消防団の沿革

明治22年	4月	貝塚町消防組発足（町制施行により）
明治23年		島村消防組発足
大正元年		麻生郷村・木島村消防組発足
大正7年		西葛城村消防組発足
大正12年		南近義村消防組発足・北近義村消防組発足
昭和6年	4月	貝塚町・麻生郷村・島村・南近義村・北近義村が合併、貝塚町となる
昭和7年	7月	大阪府令第49号により、新たに貝塚町消防組を次の通り編成 第1部 25人 第4部 25人 第2部 25人 第5部 25人 第3部 25人
昭和10年	4月	木島村編入に伴い2部増設7部となる
昭和12年		1部増設し8部となる 1部15人とし、計120人とした
昭和14年		貝塚町消防組に西葛城村消防組編入
昭和14年	4月	警防団令発令により貝塚町消防組廃止、貝塚警防団を次の通り結成 第1分団 北校区 第2分団 東校区 第3分団 南校区 第4分団 西校区 第5分団 木島校区 第6分団 葛城・蕎原校区
昭和22年	4月	勅令第185号により貝塚警防団を廃止し貝塚市消防団発足 （6個分団8個班を編成、定数215人）
昭和22年	9月	貝塚市消防団設置条例制定 消防団員定数362人
昭和23年	3月	第2分団の手曳ガソリン班を第7分団（麻生中）、第5分団の手曳ガソリン班を第8分団（三ツ松）として分設
昭和27年	7月	第9分団（津田）増設
昭和30年	3月	大阪府知事より表彰旗を受章
昭和32年	2月	日本消防協会長より表彰旗を受章
昭和33年	3月	国家消防本部長より竿頭綬を受章
昭和38年	10月	第7回大阪府消防操法訓練大会ポンプ車操法の部で第6分団優勝
昭和39年	3月	消防庁長官より表彰旗を受章
昭和54年	10月	第23回大阪府消防操法訓練大会ポンプ車操法の部で第5分団第3位
昭和56年	3月	消防団員定数を250人に条例改正
昭和58年	2月	日本消防協会長より竿頭綬を受章
平成2年	9月	第34回大阪府消防操法訓練大会小型ポンプ操法の部で第3分団第2位
平成3年	3月	大阪府消防協会長より表彰旗を受章
平成5年	3月	大阪府知事より表彰旗を受章
平成7年	3月	大阪府消防協会長より竿頭綬を受章
平成8年	2月	日本消防協会長より竿頭綬を受章
平成14年	2月	日本消防協会長より表彰旗を受章
平成16年	9月	第48回大阪府消防操法訓練大会小型ポンプ操法の部で第8分団第3位
平成21年	7月	「大阪の消防大賞」受賞

平成25年 2月	日本消防協会長より竿頭綬を受章
平成28年 3月	消防庁長官より竿頭綬を受章
平成28年 7月	「大阪の消防大賞」受賞

## 1 消防団主要行事

行 事	主 催	場 所	備 考
消 防 出 初 式	貝 塚 市	コスモスシアター前庭	※1
文化財防火デーに伴う消防訓練	貝 塚 市	孝 恩 寺	※2
岸和田市・貝塚市山間部合同消防訓練	貝 塚 市	和 泉 葛 城 山 山 頂	
貝塚市新任団員講習会	貝塚市消防団	消 防 本 部	
貝塚市幹部団員教育訓練	貝塚市消防団	消 防 本 部	
大 阪 府 消 防 表 彰 式	大 阪 府 消 防 協 会	大 阪 市	
消防団員教育訓練「基礎教育 A」	大 阪 府 消 防 協 会	大 阪 府 立 消 防 学 校	
消防団員教育訓練「基礎教育 B」	大 阪 府 消 防 協 会	大 阪 府 立 消 防 学 校	
消防団員教育訓練「幹部科」	大 阪 府 消 防 協 会	大 阪 府 立 消 防 学 校	
消防団員特別教育訓練「機関科」	大 阪 府 消 防 協 会	大 阪 府 立 消 防 学 校	
大阪府消防協会泉南地区支部総合訓練	大阪府消防協会泉南地区支部	岬町多奈川地区多目的公園	
大阪府消防大会及び消防操法訓練大会	大阪府・大阪府消防協会	大 阪 府 立 消 防 学 校	
消 防 署 ・ 消 防 団 合 同 消 防 訓 練	貝 塚 市	二色の浜公園海浜緑地	
歳 末 火 災 特 別 警 戒	貝 塚 市	市 内 全 域	

※1 能登半島地震のため中止      ※2 雨天のため中止

## 2 消防団員階級別定員と実員配置

(令和6年12月31日現在)

階級別 人員	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
消防団本部	1	3			1			5
第 1 分 団			1	1	1	3	15	21
第 2 分 団			1	1	1	3	14	20
第 3 分 団			1	1	1	3	16	22
第 4 分 団			1	1	1	3	16	22
第 5 分 団			1	1	1	3	20	26
第 6 分 団			1	1	1	5	25	33
第 7 分 団			1	1	1	3	12	18
第 8 分 団			1	1	1	3	18	24
第 9 分 団			1	1	1	3	12	18
計	1	3	9	9	10	29	148	209
定員	1	4	9	9	10	30	187	250

### 3 消防団員の勤続年数

(令和6年12月31日現在)

年数 分団名	5年 未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年 以上	平均
消防団本部	2						3	2.4
第1分団	2		2	4	6	1	6	22.9
第2分団	1	7	3	3	3	2	1	14.8
第3分団	1	8	2	2	6	3		14.8
第4分団	3	1	9	4	5			13.6
第5分団	7	8	4	5	2			9.5
第6分団	2	6	6	10	6	3		15.2
第7分団	4	1	1	5	2	3	2	16.2
第8分団	2	6	6	3	7			13.7
第9分団	2	4	2	3	4	3		15.9
計	26	41	35	39	41	15	12	16

### 4 消防団員の年齢状況

(令和6年12月31日現在)

年齢 分団名	18歳～ 20歳	21歳～ 30歳	31歳～ 40歳	41歳～ 50歳	51歳～ 60歳	61歳 以上	平均
消防団本部					1	4	64.2
第1分団		1		5	7	8	56.2
第2分団		6	3	5	6		40.3
第3分団			7	8	7		45.1
第4分団			6	12	4		44.2
第5分団		2	9	14	3		42.9
第6分団			7	18	8		46.4
第7分団			3	7	6		45.0
第8分団			2	12	10		48.1
第9分団			3	10	3	2	49.3
計		9	40	91	55	14	48.2

## 5 消防団機械器具配置状況

分 団 名	車 両 番 号 小型ポンプ品番	社 名	年 式	型式及びポンプ性能
第1分団	和 泉 802 た 1000 P 3 8 3 型	日 野 ラビットポンプ	H 2 4 H 2 4	CD-1 C-1級
第2分団	和 泉 800 ね 2000 P 3 8 2 型	ミ ツ ビ シ ラビットポンプ	H 1 9 H 1 9	CD-1 C-1級
第3分団	和 泉 800 と 3000 V 2 0 E 型	ミ ツ ビ シ トーハツポンプ	H 1 8 H 1 8	CD-1 C-1級
第4分団	和 泉 830 す 4000 P 3 8 3 型	日 野 ラビットポンプ	H 2 5 H 2 5	CD-1 C-1級
第5分団	和 泉 800 に 5000 P 3 8 2 型	日 野 ラビットポンプ	H 2 1 H 2 1	CD-1 C-1級
第6分団	和 泉 830 と 6000 P 3 8 2 型	ミ ツ ビ シ ラビットポンプ	H 1 9 H 1 9	CD-1 C-1級
第7分団	和 泉 800 の 7000 P 3 8 3 型	日 野 ラビットポンプ	H 2 3 H 2 3	CD-1 C-1級
第8分団	和 泉 802 と 8000 F T 3 0 0 型	日 野 シバウラ	H 2 9 H 2 9	CD-1 C-1級
第9分団	和 泉 830 な 9000 F T 3 0 0 型	ト ヨ タ シバウラ	R 2 R 2	CD-1 C-1級

## 6 消防団員報酬

区 分	年 額 報 酬
団 長	106,000円
副 団 長	74,000円
分 団 長	59,000円
副 分 団 長	45,500円
部 長	38,000円
班 長	37,000円
団 員	36,500円

区 分	出 動 報 酬
災 害 出 動	1日につき 8,000円
訓練・警戒等出動	1回につき 2,700円

## 7 消防団員出動状況

種 別	延 人 員
火災・その他災害出動	148人
訓練参加(定例・その他)	3,091人
小型ポンプ操法訓練(5月～9月)	630人
計	3,869人

## 8 表彰

消 防 庁 長 官 表 彰	永 年 勤 続 功 労 章	0
日 本 消 防 協 会 長 表 彰	勤 続 章	0
	精 績 章	0
	功 績 章	1
大 阪 府 知 事 表 彰	消 防 勤 続 功 労 章	0
	消 防 功 労 章	4
	銀 杯	4
大 阪 府 消 防 協 会 長 表 彰	永 年 勤 続 章	6
	勤 続 章	6
	勤 功 章	4
	精 勤 章	4
	木 杯	4
大 阪 府 消 防 協 会 泉 南 地 区 支 部 長 表 彰	消 防 功 労 者 表 彰	1
貝 塚 市 消 防 団 長 表 彰	団 長 記 章	4
	精 勤 章	19
	感 謝 状	11